

第11回U-15全国KWB野球秋季大会

(男子の部・女子の部)

【大会要項】

平成28年9月23日

1 目的

「明日の日本を担う青少年を育てる」という観点から、野球競技を通じて青少年の健全な育成を目指すとともに、中学生の身体の成長段階を考慮し、高等学校の硬式野球へスムーズに移行できるよう計らう。

2 主催

公益財団法人日本野球連盟 日本KWB野球連盟

3 主管

U-15全国KWB野球秋季大会実行委員会 千葉県KWB野球連盟

4 後援

スポーツ庁 千葉県・千葉県教育委員会 成田市・成田市教育委員会 印西市・印西市教育委員会
富里市・富里市教育委員会 千葉ロッテマリーンズ 千葉県野球協会 千葉県野球連盟 千葉県中
学生野球連盟 **NHK** 読売新聞社 全国新聞社事業協議会 共同通信社 公益財団法人全日本
軟式野球連盟 一般社団法人全日本女子野球連盟

5 協力

成田高等学校、秀明八千代中学校・高等学校、千葉英和高等学校

6 特別協賛

シダックス株式会社

7 協賛

ナガセケンコー株式会社 コカ・コーラボトラーズ オリックス自動車株式会社
株式会社共同写真企画

8 日程

平成28年10月8日(土) ～ 10月10日(月・祝) 予備日10月11日(火)
監督会議 10月7日(金) 17:00 (監督が出席できない場合は代理出席を認める)
開会式 " 18:00 (正規のユニフォームで主将1名が参加する)
懇親会 " 18:30 (来賓、チーム監督・コーチ、役員等が参加する
※選手の参加はご遠慮ください)

9 会場

【監督会議・開会式】(大会本部)

マロウドインターナショナルホテル成田

〒286-0121 千葉県成田市駒井野763-1 TEL 0476-30-2222

【競技】(13会場)

ナスパ・スタジアム、中台運動公園野球場、山田中央運動公園広場野球場、栗源運動広場野球場
成田高校野球場、芝山公園野球場、下総フレンドリーパーク野球場、富里中央公園野球場
坂田池公園野球場、秀明八千代高校グラウンド、千葉英和高校グラウンド、松山下運動公園野球場
北羽鳥多目的広場野球場

10 出場資格

- 男子の部 日本国内の15歳以下の中学生で構成されたチーム
- 女子の部 日本国内の15歳以下の女子中学生で構成されたチーム

11 出場チーム数

- 男子の部 32チーム [各府県から1代表、北海道(南北)及び東京都(東西)は2代表]
- 女子の部 13チーム

12 チーム構成(ベンチ入りできる者)

■男子の部

団長：1名 監督：1名 コーチ：2名以内 スコアラー：1名 [注] 役職の兼任を認める
選手：20名以内

■女子の部

団長：1名 監督：1名 コーチ：2名以内 スコアラー：1名 [注] 役職の兼任を認める
選手：参加登録選手のうち1試合ごとに20名以内を出場選手(ベンチ入り選手)として届け出る。

[注] 23名を参加登録した場合、試合当日に3名を登録抹消し、試合前のメンバー交換時に大会本部に届け出る。当日に複数の試合を消化する場合は、試合前に都度、届け出る。なお、登録抹消した選手をベンチ入りさせたい場合は、メンバー交換用紙にそのすべての選手氏名と背番号を記載し、その旨を大会本部に報告すること。これは女子の部にのみ適用される特例とする。

13 競技規則

- (1) 2016年公認野球規則および大会特別規定による。
- (2) 大会特別規定は別に定める(熟読の上、遵守すること)。
- (3) 使用球は連盟公認球(KWBボール)とする。

14 競技方法

■男子の部

トーナメント方式(試合時間100分・7回戦)とする。詳細は大会特別規定に定める。

■女子の部

出場チームを4ブロックに分ける。

【大会一日目】

Bブロックはトーナメント戦、A、C、Dブロックは総当たりリーグ戦とする。

トーナメント方式は、試合時間100分・7回戦とする(男子の部と同様)。

リーグ戦は、得点差によるコールドゲームは適用せず、延長戦も行わない。

<リーグ戦の組み合わせ>

[第一試合] 9:00 初番-中番 [第二試合] 11:00 中番-終番 [第三試合] 13:00 初番-終番

<順位決定に優先される条件>

- ① 勝ち点の合計(一試合につき 勝=2点 分=1点 負=0点)
- ② 失点数
- ③ 得点数
- ④ 抽選

それぞれのブロックの1位チームが準決勝に進出する。

【大会二日目】

準決勝、決勝をトーナメント方式で行う(男子の部と同様)。

15 大会参加費

1チームあたり30,000円、参加登録選手1人あたり2,000円を、監督会議前のチーム受付時に大会本部に納入する。

16 参加申込

※提出した出場選手名簿は、大会プログラムの作成及び本大会の事務手続きに使用する。
※大会期間中の負傷・疾病については応急処置を施し、大会本部が加入するレクリエーション保険で対応する。それ以外の責任は負わないので参加者は各自保険に加入し、保険証を持参する。

U-15全国KWB野球秋季大会実行委員会
事務局 吉田 昌弘
MAIL yoshidaball@yahoo.co.jp
携 帯 090-6103-5200
日本KWB野球連盟HP <http://www.k-ball.jp/>
☆問い合わせについては、なるべくメールにてお願いします。

17 宿泊・弁当

※別紙宿泊要項を確認の上、申込用紙にて下記に申し込む。

第11回U-15全国KWB野球秋季大会 指定旅行会社
株式会社 千葉スカイツーリスト (担当 大竹・吉田・小林)
〒289-1142 千葉県八街市大関 193-35
TEL 043-444-5250 FAX 043-444-5310
MAIL chibasky@gaea.ocn.ne.jp
営業時間 平日 9:00~18:00 土曜 9:00~14:00 日祝日 休業

18 備考

この大会要項は平成28年9月23日現在のものです。内容につき変更があった場合は関係各所に通知するとともに連盟ホームページ上で告知します。

※連盟HP <http://www.k-ball.jp>

以上

【表彰】

1 優勝チーム

賞状・千葉県知事杯・優勝盾・優勝記念メダルを授与する。

- ① 千葉県知事杯 持ち回り/翌年に代杯授与
- ② 優勝盾 (日本KWB野球連盟)
- ③ 賞状 (千葉県知事、NHK、読売新聞社、日本野球連盟、日本KWB野球連盟)
- ④ メダル (優勝記念の金メダル 選手、監督、コーチ、スコアラーの25名以内)

2 準優勝チーム

賞状・準優勝盾・準優勝記念メダルを授与する。

- ① 準優勝盾 (日本KWB野球連盟)
- ② 賞状 (NHK、読売新聞社、日本野球連盟、日本KWB野球連盟)
- ③ メダル (準優勝記念の銀メダル 選手、監督、コーチ、スコアラーの25名以内)

3 3位チーム (2チーム)

日本KWB野球連盟から賞状を授与する。

4 山本英一郎賞(最優秀選手賞)

大会で最も活躍した選手1名に授与する。

【山本英一郎賞 歴代受賞者】(名前右のカッコ内は大会参加当時の登録ポジションと、その後の球歴)

第1回(2006年)	麻下 翔太郎	(内野手・北海道K-B a l l クラブー札幌山の手高)
第2回(2007年)	佐藤 亮	(内野手・宮崎K-C L U Bー宮崎工業高(甲))
第3回(2008年)	三好 匠	(投手・福岡選抜ー九州国際大付高(甲)ー楽天イーグルス)
第4回(2009年)	大越 和樹	(捕手・千葉マリナーズー千葉英和高ー中央学院大)
第5回(2010年)	永井 恭平	(投手・オール茨城ー水城高(甲)ー国士舘大)
第6回(2011年)	浦岡 真也	(捕手・MA J O R H Y O G Oー東洋大姫路高ー東洋大)
第7回(2012年)	江口 奨理	(投手・埼玉スーパースターズー浦和学院高(甲)ー立教大)
第8回(2013年)	陣 翔大	(投手・KB釧路選抜ー旭川実業高)
第9回(2014年)	伊東 克隼	(外野手・千葉ファイターズー千葉商科大附属高)
第10回(2015年)	大澤 龍生	(外野手・埼玉スーパースターズー浦和学院高)

女子の部

第6回(2011年)	船越 千紘	(捕手・千葉マリナーズガールズー花咲徳栄高-平成国際大)
第7回(2012年)	斉藤友梨乃	(投手・千葉マリナーズー花咲徳栄高-平成国際大)
第8回(2013年)	松原 由芽	(投手・東京選抜ー埼玉栄高)
第9回(2014年)	岩淵 風香	(投手・千葉マリナーズー村田女子高)
第10回(2015年)	村越 美咲	(投手・千葉マリンスターズヤングー神戸広陵高)

【山本英一郎賞とは】



故 山本英一郎氏

山本英一郎…全日本アマチュア野球連盟会長、日本野球連盟会長などアマ球界の要職を歴任。野球の五輪正式採用など国際化に尽力し、1997年、野球殿堂入り。また、KWBボールを志太 勤・日本KWB野球連盟会長とともに開発し、その普及や発展に多大な貢献をしました。2006年5月没。享年87歳。山本英一郎賞は、氏の功績を讃え、第6回(2006年)大会より最高殊勲選手に贈呈される賞として制定されました。

写真提供：共同通信社